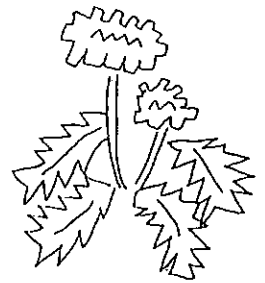




NO 135

H10年9月1日
— 発行 —〒869-1217
熊本県菊池郡
大津町森 54-2
社会福祉法人
三気の会
三気の里
☎096-293-8100

(なすな合宿研は、毎年8月9日
をはさんで実施されます。)先生
は、お兄さんの遺体を見つけ、茶
毘に付したことを涙を流しながら
話されました。

先生の著作の一節を引きます。

なすな園研修

松田 健

八月八日から十日まで第三十六
回なすな障害者教育福祉合宿研究
会(以下、合宿研)に、参加する
ため長崎県のなすな園に行きまし
た。近藤原理先生の本を初めて読
んで以来どうしても研修に参加さ
せていただきたいと思っていたの
で、念願がかないともうれしく
思っています。

講演内容を非常に雑になると思
います。自分なりに復元します。
近藤先生は山口の県立施設に勤め
られていましたが、一部屋に十三
人という現状を目の当たりにされ、
小人数でみんなが一緒に生活でき
る場、文化を築き上げる場の必要
性を痛感し、長崎に帰り、なすな
寮(のちになすな園と改称)をつ
くられました。奥様と二人のこ
息と六人の障害者との共同生活の
スタートです。当時、九州には成

人の知的障害者を集めた施設さ
なく奇異の目で見られたとのこと
です。ご家族と一緒に過ごすこと
から「バカと暮らすと息子さんに
うつるのでないか。」といった誹
謗中傷、揶揄の声を浴びせられた
そうです。

三十六年前、知事からいくつか
の手直しをすることを条件に法人
化するよう言われたそうです。が
「法律が私たちを変えるのでなく、
法律を変えてほしい。」と言われ
固辞されました。現在、グルー
プホームがもてはやされています。
近藤先生が先駆者としてなされた
ことに時代が追いかけています。

食べ物完全自給を目指し、米、
野菜、お茶、果物を作り、養豚、
養鶏も手掛け、味噌、醤油まで自
給していたそうです。その時のこ
とを共同生活をしていても人間を
能力でみていた。けんすいを何回

できた、マラソンを頑張ったとい
た能力主義、能率主義でみていた。
「細やかに いそいで 頑張った」
と述べられました。月日が経ち、
みんな歳をとるにつれ、養豚、養
鶏を止め、田も大幅に減反されま
した。純心大学に勤務する頃から
「やっと福祉がみえてきた。」と
言われます。

大らかに 細やかに さりげなく
何よりも大らかさが先でないとい
けない。大らかさは、包容力。細
やかに、専門性。さりげなくは、
追い立てないこと。私には、この
言葉の表面的な意味は理解しえて
も本当の深い意味を語る力を持
ちません。安っぽい解説は控えさ
せていただきます。

なすな合宿研の特色の一つに
「平和」を視座に入れていること
があげられます。近藤先生のお兄
さんは、昭和二十年、長崎の原子
爆弾投下により亡くなりました。

真っ先に邪魔物扱いにされる。
ナチスドイツは第二次大戦中、
自国の障害者七万人をガス室
へ送った。(『共生社会を
めざして』明治図書刊)

近藤先生の言葉に「平和なく
して福祉なし」とあります。戦争が
風化している昨今、しかも反動化
勢力が跋扈している中、考えさせ
られることが多かった3日間です。
近藤先生及び事務局の方々、
ご苦労さまでした。感謝申し上げ
ます。

最後になりましたが、田中施設
長は急病のため現在入院されてい
ます。一日も早く回復されること

を職員一同願っています。各方面の方々にはご迷惑をおかけします。が何卒ご便宜をお取りいただきませうようにお願い申し上げます。

療育有様雑記



田之上健一

夏季帰宅訓練期間に入ると、職員研修や出張等色々な行事も入ってくる。入所生にとっては帰宅という楽しみな時期でもあり、開所してからずっとこの事は、繰り返されてる。

今回、園内研修として行われた実践キャンプは、8月9日から12日の3泊4日間であった。新人職員にとっても、ベテラン職員にとっても、中身の濃い研修内容であったと思う。

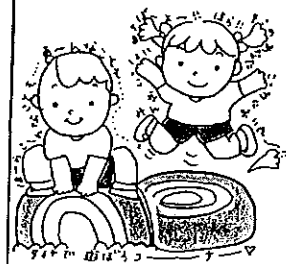
登山グループとIEP（個別指導）グループに別れて訓練指導は行われた。昨年からするとトレニー募集は減らしたのだが、少数で中身の濃い訓練を行う目的と、他に、三気の里への在園生に対するケアも大切にしたいという目的もあった。夏季帰宅訓練中も以前に比べると、何らかの事情で帰

宅できない園生も増えてきた。保護者の方の高齢化、健康上、家庭の事情、園生の調子等、様々な事情が含まれている。援護施設の職員である私たちが工夫していくのは当然である。

自閉症者の方にフリーの時間、一日を自由に過ごさなさいというのは、簡単なようで難しい注文である。あらかじめ決まったスケジュールにもとづいて行動するのであれば、不安のない安心した状態で過ごせる。夏休みなど不規則な生活になりやすい時期は、リズムを崩さないための休みの過ごし方を考える必要もあるでしょう。家庭の方で、これからの事を実行していくのは、容易ではないと思われる。また、逆にパターンを完全に作ってしまい、そのパターンを続けなくてはいけないケースもでてくるかもしれない。

生活のリズムはなるべく変化なく、行動パターンは良いパターンと悪いパターンを見極め、悪い行動パターンであればパターン崩しをして、良い方向へと変えていかななくてはならない。時間と根気のいることでもある。

計画していかなくてはならないと思う。



食当室営業中

8月9日から8月12日まで実践キャンプが行われました。毎年参加しているトレニーが殆どで、1年見ない間に体も大きくなって見間違えるようでした。厨房はトレニーに接する時間が食事のときだけなので、あまり会話をすることも無かったです。最後の日に一人の男の子が「3日間食事を作ってくれてありがとうございました」と言ってくれました。その一言がとても嬉しくて、三気の里で食事を作っていて本当によかったなあと思えました。上村



実践キャンプ

高橋 千草

第8回の実践キャンプを、8月9日から8月12日まで実施することができました。実施にあたって保護者の皆様に御協力いただきありがとうございました。

施設長の巻頭言には、「三気の里は入園生にとって「生活の場」であり「療育の場」であります。と同時に開園当初より地域へ開かれた施設という目標もっています。私たちは、園生の8割以上が自閉症という状況もっています。この種の施設としては、日本で最も大きく厳しい状況にある施設です。かかる状況下で、自閉症という特異な障害に対する考え方、療育理論、療育技法を磨いて来ました。実践キャンプはこれらの経験を地域へ広げる機会であると同時に、新しい子供たちへの関わりをとうして、新人職員へ伝え、自らも更に研鑽する場でもあります。(以上抜粋させていただきました)と、あり職員研修として毎年行っています。今年も、登山・個別指導・在園生の三つのグループに分かれた活動となり、それぞれの班で実り大きなものとなったようです。

このキャンプが、また来年も企画実施できますように！そして、参加された皆様、お疲れ様でした。



夏祭り

國岡 紀代香

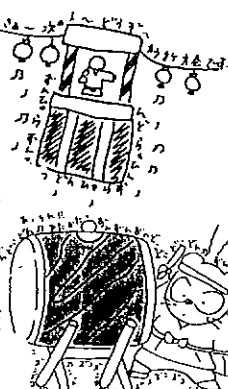
去る7月31日(金)三気の里の夏祭りが盛大(?)に行われました。当日は、あいにくの天気でもむなく中庭から食堂へ場所を移動しての夏祭りでした。当日はワークキャンプの中・高校生9名と菊池女子高、熊本社会福祉専門学校、尚綱短期大学の8名のボランティアの方々の手助けもあってスムーズに進行する事が出来ました。又、オリジナルなギター演奏で場を盛り上げてくれた人もいました。職員の出しものでは今年のテーマは「スピード」で、司会だった松田

副施設長と緒方指導員大変お疲れ様でした。みんなとても楽しめていました。一部職員の間では、副施設長の女装に「怖い。」との声も…。

夏祭りが始まる前、食堂を開放していると園生のみんなどがどこからともなく集まって来てカラオケを楽しんでくれていました。「みんなの祭り」と言う気がしてほのぼのとした気持ちになりました。

今回の夏祭りの企画、実行は若手の職員だけの構成で反省点も多かったかとは思いますが、それぞれの人が限られた予算の中で役割を遂行してくれたお陰で何とか無事に終了する事が出来ました。特に壁面の装飾は夢に溢れたものでした。来年も楽しいものにしていきたいですね。係の方、把握職員の方、ボランティアの方、厨房職員の方、そして実行委員の方大変お疲れさまでした。

なんでも挑戦・やる気が大事



佐藤 美弥子

夏休みがはじまり洋一が帰ってきて一番活躍するのは台所です。いつも冷蔵庫を開けてはメニューを考えています。もちろん難しい

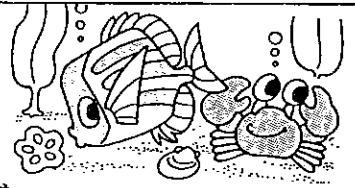
料理は出来ませんが、少ないレパートリーの中から気の向いたものを作ります。

洋一が料理に関心を示すようになったのは、小学生のころです。子供向けの料理番組を見ているうちに興味をもち、自分でも作ってみようという気になったのだと思います。最初はテレビで見たようにはうまく作れませんでした。失敗を繰り返すうちにようやく料理らしきものが一人で出来るようになりました。この頃から、他のことにも興味を広がり、好きなことが増えるようになりました。洋一も今は17歳。悩みも多けれど、それを打ち消すだけの楽しみを見つけてほしいと思います。駄目でもともと、恥をかくことも多いと思いますが、これからも色々なことに挑戦して、一度しかない青春を自分なりに楽しんでほしいと願っています。





班ニュース



2班 - それぞれの夏休み

毎日暑いですね、熊本市内は熱帯夜が20日も続き寝苦しい日々が続きました。皆さん、体調は壊されていませんか？2班の皆は元気に戻ってきていつもと変わらない日々を送っています。

ここで、夏休みの皆の様子をちょっと紹介したいと思います。夏休み前は毎週の帰宅中、家で騒々しく過ごしていた泰彰君は、この夏休みとても静かに過ごせたとのことで、毎日日記を書いていたそうです。8月9日日曜日「今日は笑っていいとも増刊号を見ました。映画を見ました。競馬中継を見ました。スーパージョッキーを見ました。お風呂掃除をしました。」10日～15日「今日はお風呂掃除をしました。」16日日曜日「今日はお風呂掃除をしました。笑っていいとも増刊号を見ました。競馬中継を見ました。映画を見ました。スーパージョッキーを見ました。」17日に帰園して来たのですがあまりにもおとなしかったので、お母さんも、もう少し家にいたらと何度も説得したけれども変更が効かず予定通り帰って来ました。マーちゃんは、毎日散歩に出掛け健康的な生活を送ったそうで今年は今までにない夏休みだったそうです。文ちゃんは、九州各県をドライブしたとのこと、お父さんお疲れ様でした。さゆりちゃんは、風の里キャンプ場でキャンプを楽しんだそうです。由布子ちゃんは、小国で温泉巡りを満喫。家庭の事情で帰宅できなかった正樹君や民さんは、ドライブや大津町の地藏祭りに出掛けました。泰貴君はちょっと遅めの夏休みを今満喫していることでしょう。他にも名前は出ていませんがそれぞれに落ち着いた夏休みを楽しめたようです。

田邊

4班 - 草取りの救世主

お盆を過ぎても、まだまだ暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。わが農耕班では夏季帰宅中の“楽しさ”と正比例するほどの大きさで、今にも天を突きそうな勢いで草が伸びきっています。これからが思いやられますが…

ところで突然ですがHATAさん、と聞いて皆さんは何を思い浮かべますか？そう一ドラマ通の方ならもうピンときたと思いますが、フジ系列で放送されたドラマ WITH LOVEの主演の男性がパソコン通信の中で使っていたルームネーム。とドラマの説明はさておいて、そのHATAさんが農耕班にやってきました。といってもHATAさんこと長谷川 天(=竹野内 豊)ではなく秦さん(女性)で7月で退職された吉田指導員の後に8月から非常勤として働かれています。正に草取り娘と化して(7月後半の実習時より)毎日毎日園生と一緒に汗をダラダラと流しながら頑張ってくれています。ほとんど色々な事を覚える(教える)前から草取り作業に従事?してもらっている状態なので、もしかしたら本人は“いじめられているのかも”と思われたのかも知れません。しかし、その甲斐あって夏休み前にはさつま芋畑の草取りが終わり、すっきりした気分で行ったのですが、明けて畑に目をやるともうかなりの草が伸びてきています。ここでも、やっぱり秦さんが大活躍です。

指導員は勤務の都合上、平日に夜勤明けや休みの日がありますが、秦さんは平日フルに出勤されているため作業の中心を担っているのが彼女と言っても過言ではないほどです。勿論、他の職員や園生も頑張っています。そう言った意味で彼女は農耕班にとっての救世主的存在になっています。

ちょうど一番忙しい時の就職で、本人が一番大変だったことと思います。もう少し涼しくなって作業もしやすくなったら一人一人の園生の事・事務の事等も含めてゆっくり理解してもらって、農耕班のHATAさんから三気の里の秦さんになれるよう皆と一緒に頑張っていきましょう。

木下

1 班・スイートジャングル冒険記

最初に手を伸ばしたのは俊ちゃん。大きなコーンフレークの箱。今にも開けて食べちゃいそうなのをなだめて、小さなシスコーンに替えて買い物カゴに入れる。まだまだジャングルの入り口。奥に進むにつれてチョコレートやガムやスナックが目飛び込んでくる。深く奥へ突き進んで行くのは英君、まずひとつ手に取りカゴに入れる。自信満々の行動に感心しつつかっちゃんに目を向けると、最初手に取ったスナックを棚に戻して計り売りのチョコレートをしづかみにしている。チョコレートが食べたいのがよく分かったので、いろんな種類のチョコレートがある棚を教えると板チョコを選んで大納得、安心してカゴを持っている。そのカゴをふと見るといつの間にかお菓子が増えている。英君が次から次へとお菓子を手に取りカゴに入れているのである。何せここは視界360度どこを見てもお菓子だらけのスイートジャングル、あれもこれもと欲しくなっても仕方がない。あーでもないこーでもないとやり取りを繰り返しくリームコロンをカゴに残した。さあ次は、ジュースコーナー。みんなの注文を聞いて、かっちゃんが「コーラ」「ファンク」と棚からとって行く。カゴがぐっと重くなった所でレジを通過して脱出。車に乗ってテクノリサーチパークへ移動。やっとゆったりと座ってお菓子とジュースを頂いた。自分で選んだおやつはやっぱりいいね、本当においしそう。おかわりを欲しがって少し不機嫌になった俊ちゃんも、しばらく目を閉じてじっと黙り込み、目を開いた次の瞬間にはまた笑顔に戻っていた。(楽しかったね)

夏休みの午後、俊ちゃん、かっちゃん、英君のジャスコでの買い物の1コマでした。 平川

3 班・夏の出来事

夏休みも終わり、9月にある宿泊レクリエーションを待つばかりとなりました。私自身はじめての宿泊レクリエーションなので、3班の皆よりもドキドキしています。

さて、7月31日に行われた夏祭りでの出来事です。各班代表でのカラオケ大会では、希久ちゃんと昭子さんがデュエットをしました。歌っている間、ずっと昭子さんは希久ちゃんに、ラブラブ光線を放っていて、希久ちゃんは恥ずかしがりながらも楽しそうな様子でした。最後の全員のダンスでは、剛君はおばさんパーマのかつら、友君はつつる坊主のかつらをかぶり、バックミュージックに合わせ、手をくねくね、お尻をふりふり素敵なダンスを見せ、夏祭りを盛り上げてくれました。他の皆も輪投げゲームや花火を楽しんだり、アコーディオンの生演奏を聞くことができたりと、食堂で行ったにもかかわらず、十分に楽しめたようです。

さあ皆さん、宿泊レクリエーションに向けて体調を崩さないように気をつけましょうね。 岩本

5 班 夏の忘れ物

残暑お見舞い申し上げます。長かった夏休みも終わり、再び賑やかな毎日の三気の里です。

皆は…長い夏休みを満喫してきた証でしょう、いつになく、こぼれる笑顔も晴れやかです。そんなそんな皆とは裏腹に、フーッと大きく息をつき、うなだれるお父さんやお母さんの姿が目につかびます。今年も、また一仕事終えられましたね。本当にご苦労様でした！！

“さあーてっ！” 気合を入れて、恐る恐る外へと目をやってみようか…
まっ、なんと青々とした景色が広がっていることでしょう。それもまた、伸び伸び・スクスク・たくましく立派に育った“草”？“木”？の群衆…

出番です、我が園芸班の精鋭達よ！この夏の忘れ物…あなた達に付着してしまった「お肉ちゃん」たちと、この青々と茂っているナゾの群衆たちを一気に消してしまおうじゃないかっ！！(もちろん、わたしのお肉が一番に…^ㄉ)…とはいえ、今年の忘れ物もまたとっても大きいねえ。

早く秋にならないかな…さっ、がんばろっかな。そんな園芸班を皆さん応援してくださいね。

麻生由

9月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	
		1	2	3	4	5	
				3班宿泊レクレーション 金森くんの誕生日(30)			
6	7	8	9	10	11	12	保護者会
			4班レク				
13	14	15	16	17	18	19	
		5班レク		2班レク 龍二くんの誕生日(22)			
	真一郎くんの誕生日(25)						
20	21	22	23	24	25	26	
運動会				1班レク	タンポポ編集	帰宅バス	
	素成くんの誕生日(25)					茨城くんの誕生日(23)	
27	28	29	30	金森くん・真一郎くん・龍二くん・素成くん・茨城くん、お誕生日おめでとう 20日運動会 12日保護者会 25日タンポポ編集 26日帰宅バス			



ポランティア通信

暦の上では秋ですが、まだまだ残暑は続きそうです。みなさまは如何お過ごしでしょうか？

去る7月29日(水)30日(木)31日(金)の3日間大津町社会福祉協議会主催のワークキャンプが三気の里でも行われました。最終日は、夜遅くまで夏祭りにも参加して頂きありがとうございました。又、夏祭りにボランティアとして参加して下さいました方々もありがとうございました。次回の行事は9月20日(日)に運動会が予定されていますので、是非遊びに来て下さい。お待ちしております。 國岡

☆ボランティアありがとう☆

- ☆生け花 西村 栄子
- ☆散髪 坂本 シマ子
- ☆ボランティア指導 前淵 隆子
- ☆夏祭り
- 高木 栄紫 岩下 智文
- 江藤 仁美 坂本 理恵
- 久保 優子 坂本和津江
- 河上 知美 阪本 真紀
- 大塚 朋子 金森 亜伊
- 藤原由紀子 平田ひろみ
- 杉本 恵 吉良 知美

- 豆塚 由香 徳永 寛基
- 野口 晶二 豊田 美穂
- ※敬称略

お礼

夏祭りですばらしいアコーディオンの演奏をして下さった高瀬先生、そして野々島学園、つくしの里の職員の方々ありがとうございました。

栄養の話

「もも」

夏の果物と言えばスイカと答える人が多数だと思えますが、食物繊維が豊富で、便秘予防に最適な桃の存在を忘れてはいませんか？桃は、リンゴ酸やクエン酸も多く、多汁で香りが良いことから食欲増進にも役立ちます。

その他、血液循環を良くする、腸を潤して消化を助ける、体力が弱って出る微熱を抑える効果があるので、夏場はぜひ食べて下さい。

矢野

訂正

タンポポ8月号のなかで、藍ちゃん誕生日が、6日が8日に間違っていました。藍ちゃんごめんね。

